

まんしょうじ

# 満勝寺のイチョウ～掛川市指定天然記念物～



室町時代、雑賀肥後守吉長は玉洞妙院日秀上人の高徳を聞き法華經に入信しました。その後まもなく戦功を挙げたことにより遠江国中村の地を拝領、文安3年(1446年)3月寺を建立しました。吉長からこの寺を寄進された玉洞妙院日秀上人は満勝寺とし、愛弟子日住上人を遣い遠州地方における法華經流布の拠点としました。日秀・日住両上人の縁から京都本満寺四ヶ聖跡のひとつとされています。

掛川市内で一番大きなイチョウの木は石段脇にあります。高さ6mあたりで3本に分かれていて、秋には落下した黄葉が境内に広がる様は大変美しいです。

掛川市天然記念物指定日／平成2年4月6日

所在地／掛川市中3529 (満勝寺)

樹 齡／推定300年以上

樹 高／25m

幹周り／2m80cm

